

公開シンポジウム

環境中化学物質分析 の最前線

見えない汚染、潜むリスクを化学で読み解く

2026

1/16

FRI

13:30~17:30

(開場 13:00)

参加無料

コンベンションホールAP浜松町 N+O会議室

中島 大介 (国立環境研究所)

環境研究総合推進費(5-2302)の研究について

新福 優太 (国立環境研究所)

液体クロマトグラフ-高分解能質量分析計を用いた水道水中の生分解性有機物の探索および構造推定

家田 曜世 (国立環境研究所)

環境ノンターゲット分析手法開発とその応用事例

久保 拓也 (京都府立大学)

環境研究総合推進費(5-2303)の研究について

山内 一郎 (京都大学)

内分泌かく乱のメカニズムを追究する:甲状腺ホルモンを例に

中田 典秀 (神奈川大学)

ターゲットおよびノンターゲット分析による魚体内抗うつ薬とその代謝物の探索

お問い合わせ

主催: 京都府立大学・久保拓也

共催: 国立環境研究所・中島大介

協賛: 環境研究総合推進費

連絡先: t.kubo@kpu.ac.jp

5-2303

「実環境試料に基づく甲状腺ホルモン作用かく乱化学物質の同定・分級と複的健康影響の評価法開発」

5-2302

「データ非依存型取得法による環境汚染物質の定量デジタルアーカイブ手法の開発」

お申込み

<https://forms.gle/TRxKqN4Cgb7NPVKW9>

QRコードから、googleフォームでお申込み→

〆 1/12 (月)

※定員100名



〒105-0011

東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB会地下1 F

- ・都営地下鉄大江戸線/浅草線「大門駅」より徒歩3分
- ・JR線・東京モノレール「浜松町駅」より徒歩7分